

2012/
10月6日記録

NPOふくてっく定例会

司会 曾我部 会員
場所 大阪市立社会福祉センター

* 事務局報告 *

中北 会員

- ① 9月1日 運営会議開催。議事録はHPにアップしています。
- ・木工部は部会の体制を解除して本部直轄の「木工活動」となります。
 - 「風船バレー」の型取りについて新たな要求があり、木ではなく4ツ割りの厚型紙（送料経費を軽減する為）で作ってほしいとのことでしたが、厚紙ではなく3mmの単板で作れないか検討しています。
 - ・11/23 池島まつり参加の方向で検討（渉外担当：小川理事長）一昨日池島より依頼があったが内容については未定。
 - ・認定NPO法人格取得の検討は取りやめ
- ② 次回の運営会議は12月1日の予定
- ③ 会報83号の原稿協力依頼/12月1日発刊予定、原稿の締切は10月末ですよろしくお願いたします。・・・清水会員
- ④ 1月例会開催日と場所の確認/1月5日大阪市立社会福祉センター(予定)で開催することに決定しました。・・・和泉会員

* 外部連携報告 *

- ① 9月19日 (株)ノダ ケア連携型ショールーム検討懇談会に参加
- ② 9月19日 有ボ連定例会
- ③ 9月24日 真友会 学習テーマ「脳卒中」
- ④ 10月4日 A I C H A N会議
- ⑤ 10月15日 真友会 学習会テーマは未定
- ⑥ 10月27日 あべの親子フェスタ

* 回覧資料紹介 *

- ・日本スローワーク協会「会報」
- ・大阪交通災害遺族会「パンジーだより」
- ・住まい情報センター「タイアップ事業」
- ・高齢者住宅情報センター大阪「茶屋町通信」
- ・口と足で描く芸術家協会「作品販売依頼」
- ・まねき猫通信
- ・ゆめ風基金「ゆめごよみ風だより」
- ・11/23 東北・関西ポジティブ生活文化交流祭（長居公園）案内チラシ
- ・中部通信
- ・11/23～12/2「大阪ええじゃないか一言いいたいことを言うてみる10日間 in フェスタ」
- ・その他

* 学習会 *

13:50～15:30

「改正介護保険/地域包括ケアと現状」

社会福祉士/一級建築士 空 千秋

特定非営利活動法人 日本福祉文化研究センター 代表理事

介護保険制度改革の経緯と今後のスケジュール：2000年4月介護保険法施行され、その後3年ごとに事業計画が見直され2006年に介護保険法等の一部を改正する法律が全面施行された。この時の大きなポイントは ①新予防給付、地域包括支援センターの創設 ②地域密着型サービスの創設 ③介護サービス情報の公表制度の創設 であった。

2000年4月のスタート以来、在宅サービスを中心にサービス利用が急速に拡大するなど、介護保険制度は、老後の安心を支える仕組みとして定着してきた。一方、制度の定着とともに介護保険の総費用は急速に拡大。現行制度のままでは保険料の大幅な上昇が見込まれ、「制度の持続可能性」が課題となる。①の要因として、軽度者（要支援・要介護1）の大幅な増加があり、軽度者の状況像を踏まえ、予防給付の対象者・サービス内容・ケアマネジメント体制を見直がおこなわれた。また、介護予防ケアマネジメントは地域包括支援センターが実施することし、予防重視型システムの確立を図った。一方、在宅と施設の給付と負担の公平性を鑑み、施設給付の見直しも行われた。介護保険3施設の居住費（ショートステイの滞在費）と食費、通所サービスの食費を保険給付の対象外とした。従来の制度では、同じ要介護状態の方でも、在宅生活の方と施設に入所（入院）されている方では、実質的な費用負担に2倍程度の差があった。②の地域包括ケア体制の整備として、地域の特性に応じた多様な柔軟なサービス提供が可能となるよう、地域密着サービスを創設した。また、居住系サービスを充実するために、特定施設の対象を拡大（養護老人ホームや高専賃等）し、有料老人ホームの定義の見直しをおこなった。③は、サービスの質の確保が課題となり、介護事業者に事業所情報の公表を義務付け、事業者規制やケアマネジメント等の見直しもおこなった。ちなみに、在宅サービス事業者の推移（平成13年5月と17年5月）を比較すると、在宅サービスを中心に事業者の参入が続いている。特に、営利法人（131%）非営利法人（301%）の伸びが大きい。

2009年市町村及び都道府県は、国の基本指針に即して3年を1期とする介護保険事業（支援）計画を定めることとされ、第1次ベビーブーム世代が高齢者になる2015年に向けて今後の高齢者介護の基本的な方向性を推進していくため、2014年度を見据えた目標を設定することとなった。2012年4月介護保険が一部改正され、地域密着型サービスでは新たなサービスが創設され、また、医療との連携を強める改定内容となった。

番外/行政は危機管理能力が弱く、法律を根拠にしか動けないのでリスクを回避する。絡み手で対応してることが得策。

1. 住環境研究部会

畑 会員

9月15日 部会報告

奈良ホテルについて説明 ホテル玄関が外部階段の段差解消について

2. 研修部会		鎌田 会員
「パソコン教室」の案内 10/6(土) 10:00～ ボランティア情報センター1階受付前 中止 講師の体調不良のため今日は中止しました。11月のパソコン教室開催の有無については後日連絡します。		
3. 福祉用具部会		古場 会員
9月17日(月曜日) 参加者 2人 センター 古場 会場…ATC ITM棟 ふくてつく事務局内 内容…シャープ創業者早川徳次生誕100年展に行きシャープ開発製品から開発の意義を考えた。 10月22日(月曜日) センター 古場 会場…ATC ITM棟 ふくてつく事務局内 内容…福祉関係の情報を検討する。		
4. 東大阪部会		清水 会員
① 9月の東大阪における改造助成・介護住改の検証活動は4日間(9/6.13.20.27)延べ11名活動。 事前相談会2件 ② 9/19 東大阪市福祉事務所・保健センター障害福祉担当者会議に参加/川北・清水 ③ 9/15 10:00～12:30 大阪市立社会福祉センター104号室「活動検討会」開催、参加者10名。 尼崎市介護住改研修会内容検討他 ④ 9/28 14:00～16:00 尼崎市介護保険住宅改修施工事業者研修会 会場：尼崎市すこやかプラザ 多目的ホール 「住宅改修/利用者にとって信頼される担当者のスキルアップ」 研修会講師：川北・小川 施工業者約70名 ふくてつく/中北・後藤・寺岡・春岡・清水 9月・10月と尼崎市依頼の集団研修会を実施後、 11月～2月にかけて尼崎市6ブロックの地域包括支援センター管轄ケアマネジャー対象の小規模な勉強会を実施予定。 ★ワンポイントアドバイス『多機能トイレの盲点・多目的トイレのマナー』 大塚会員 多目的トイレの設備でなければ困る障害者がいることを忘れて利用する健常者がいる。多目的でよかったのか？		
5. こむねっと事業部会		中北 会員
1. 福祉サービス第三者評価 ① 9月8日 ST社第三者評価 職員・利用者アンケート票の最終検討 11日にST社に届け、配布を開始。10月1日一部回収。自己評価表回収済み。 ② 認知症対応型共同生活介護事業所職員からの深刻な相談 今後の予定 ・10月13日10:00 大阪市立社会福祉センター104号室予定 ・自己評価・アンケート結果分析 10月20日午後 社協104にて引き続き ② 10月17日 評価機関連絡会 ③ 10月29日 評価調査者継続研修 秋岡会員が受講予定 ④ 11月12日 マッセ大阪 第三者評価の啓発・振興事業		
ひとことタイム (会員による個人の情報発信コーナー)		
会員である吉本さんからの依頼。できれば名前が残る形で寄付をおこないたいが、寄付先やそのお金の使い方についてアドバイスをしてほしい。		
初参加者の感想 (初参加者には例会参加の動機、参加した感想など一言お話しいただきますのでご協力ください)		
なし		
次回例会の司会予定 平成24年11月10日		司会：立溝会員 五十音順です。予定者の都合が悪い場合は、次の会員が担当となります。 予定：寺岡会員 長岩会員
次回以降の予定		
・11月10日(土)13:30～17:00頃 会場：大阪市立 弁天町市民学習センター クラフトルーム ■学習会「(仮)子どもの精神的・心理的な問題と現状」阪南病院/児童精神科病棟看護師長藤好氏・同看護主任藤井氏 ・12月1日(土)13:30～17:00頃 会場：大阪市立社会福祉センター(予定) ■学習会(仮)「ユニバーデザインとNPO活動」NPO法人共用品研究会関西 理事 中島 巖氏 ・1月5日(土)13:30～17:00頃 会場：大阪市立社会福祉センター(予定) ■親睦会(学習会はなし) ・2月2日(土)13:30～17:00頃 会場：大阪市立社会福祉センター(予定) ■学習会(仮)有料老人ホームの現状と課題		